古美術の知識

一、建築　古建築には次の四つがある。

1 寺院建築　古い建築が多い。

①和様――最も古くから伝えられて日本化した。奈良・平安時代まで。

②唐様・天竺様――鎌倉時代に南宋から禅宗とともに伝えられた。禅寺に多い。天竺様の代表は東大寺南大門。

2 神社建築　わが国古来の建築で、伊勢神宮の神明造と出雲大社の大社造が基本になっている。

3 住宅建築　古いものは甚だ少ない。

①寝殿造――平安時代の貴族の住宅。

②書院造――桃山時代にできた武家の住宅、今日の日本家屋の基礎になる。

4 茶室建築　室町時代の茶道の流行にともなってできた。元来農家の建築から発達したものといわれる。

二、庭園　時代とともに形式も変る。

1 池泉式　池を中心としてつくられる。

①舟遊式庭園（平等院）――池に舟を浮かべて楽しむ。平安時代の寝殿造。

②廻遊式庭園（金閣寺）――庭の園路をめぐって楽しむ。鎌倉時代に完成。

③観賞式庭園（醍醐三宝院）――書院からながめる庭。室町・桃山時代に完成。

2 枯山水（龍安寺）　鎌倉いごの禅寺に多く行なわれた。水の不便な場所に発達し、池泉式のように築山・泉水等を用いず、石組と砂利で山や水を象徴する。

三、仏像　仏像はきまりによって、一体（独尊）のほか組合せにより釈迦三尊・薬師三尊・四天王・仁王等になる。

1 種類　よく接するものでは、

①如来――釈迦・阿弥陀・薬師・大日等。

②菩薩――観音（如意輪・不空羂索・聖・千手・十一面）・日光・月光・弥勒・地蔵等。

③明王――五大（不動等）・愛染・孔雀等。

④天部――四天王・吉祥天・帝釈天等。

⑤神将――執金剛神・十二神将。

⑥比丘――釈迦十大弟子・羅漢。

⑦その他――居子・童子・力士等。

2 材料と作り方

①木――一木造りと寄木造がある。

②金銅――銅を用い型にはめて作る。

③乾漆――布と漆で塗りかためる。脱は土で、木心は木で形をとる。

④塑像――木を心にし土をかぶせる。

四、絵画

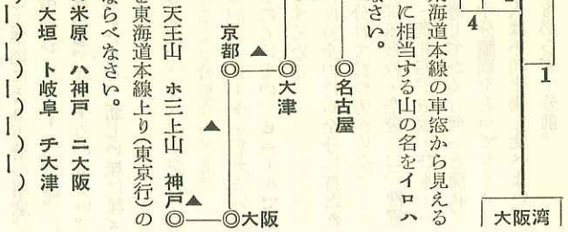
①唐絵・大和絵――唐絵は中国の風物を題材に描いたが、のち日本的な題材を求めて発達したのが大和絵。

②水墨画――禅宗とともに発達した。

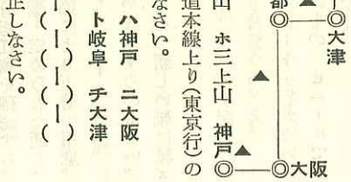
③障壁画――城や書院の襖等に描いた。

近畿の旅　問題集

①淀川の主な支流には左の四つがあります。図を見て川の名を言いなさい。



②左の山は東海道本線の車窓から見える山です。▲に相当する山の名をイロハで記入しなさい。



イ東　山
ロ伊吹山
ハ六甲山　ニ天王山　ホ三上山　神戸◎
ヘ大垣　ト岐阜　チ大津

③左のまちを東海道本線上り（東京行）の順じょにならべなさい。

イ京都　ロ米原　ハ神戸　ニ大阪
ホ高槻　ヘ大垣　ト岐阜　チ大津

（　）（　）（　）（　）（　）（　）（　）

④左の文の誤りを正しなさい。

(1)秀吉は本願寺を東西に分けた。

(2)三十三間堂は長さ三十三間ある。

(3)東海道五十三次の起点は三条大橋。

(4)法隆寺は世界最大の木造建築。

(5)東大寺大仏殿は丸ビルより低い。

(6)外宮は内宮よりも昔に造られた。

(7)御堂筋は全部電車が通っている。

(8)神戸は横浜に次ぐ貿易港である。

⑤次の人物に年代順に番号をつけ、その人に関係あるものをむすびなさい。

聖徳太子（　）　比叡山
豊臣秀吉（　）　東大寺
桓武天皇（　）　大阪城
織田信長（　）　平安京
足利義満（　）　四天王寺
聖武天皇（　）　金閣寺
藤原道長（　）　平等院

⑥次の僧・宗派・寺・時代をむすびなさい。

鑑真　天台宗　本願寺　江戸時代
親鸞　真言宗　延暦寺　奈良時代
最澄　禅宗　唐招提寺　鎌倉時代
一休　律宗　東寺　平安時代
空海　真宗　大徳寺

⑦次の建物の建築様式を言いなさい。

御所紫宸殿　懸崖造
清水寺舞台　権現造
正倉院宝庫　寝殿造
皇大神宮正殿　書院造
桂離宮　神明造
北野神社本殿　校倉造

⑧次の仏像の傑作はどの寺にあるか。

みろく菩薩　三月堂
薬師三尊　法隆寺
くだら観音　中宮寺
日光菩薩　薬師寺

⑨次に関係のある所を言いなさい。

利休　石川五右衛門　弁慶　一寸法師
忘れ傘　平家物語　徒然草　衣掛柳

⑩左の京ことばを標準語に改めなさい。

ようおいでやした。しんどおしたやろ。

旅の心得

〔楽しい旅をするために〕

1 旅の準備

(1)健康状態を最良にする。
(2)目的地・見学個所は事前に十分しらべておく。
(3)日程の概要を頭に入れ、家庭にもよく承知しておいてもらう。特に宿舎。
(4)班編成・各自の分担任務を確認する。
(5)服装は質素・清潔・定められた通り。
(6)目的地(山)と季節により下着の用意。
(7)雨季には雨具(レインコート)持参。ビニール風呂敷で代用するのもよい。
(8)靴ははきなれたもの。新しい靴は靴ズレがおこりやすい。
(9)持物は必要なだけ。すべてに記名。
(10)荷物は下げるより背負う方が楽。
(11)しおり・筆記具・ノートを忘れない。
(12)弁当は腐りにくいもの。ビニールで包むと腐りやすくなる。
(13)定められた所持金のほか余分に持たない。お金は分けて持つ方が安全。
(14)他に、古新聞紙数枚・空袋二、三・洗濯バサミ二こ・荷札四、五枚・ひも・ハガキ等を用意しておくと何かと便利。
(15)出発前日は十分睡眠をとっておく。
(16)乗物に弱い人は不消化物を食べない。
(17)集合はいつも必らず十分前。
(18)事故や故障は直ちに連絡する。
(19)「旅の恥はかき捨て」禁物。校章を恥ずかしめず、よい校風を誇ろう。

2 車中の注意

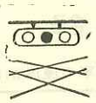
(1)改札口は並んで通ろう。
(2)乗り降りは秩序正しく。
(3)座席はおたがいにゆずり合おう。
(4)窓から頭や手を出すと危ない。
(5)トンネルや鉄橋にさしかかる前は短い汽笛(ピ)が鳴らされる。
(6)窓の開けっぱなしは迷惑になる。
(7)窓から物を捨てると大変危い。
(8)食べがらはまとめて座席の下へ。
(9)持物は整とんして身近におく。
(10)席をみだりに離れない。
(11)デッキに出ない。ドアにもたれない。連結機にのると振り落とされる。
(12)乗物の機械器具にさわらない。
(13)運転中の運転手には話しかけない。
(14)放歌や不作法はきらわれる。
(15)通路にたん・つばをはきすてない。
(16)洗面所は順序よく、一人占めせぬ。
(17)停車中の用便は特につつしむ。
(18)便所はノックする。水洗を忘れずに。
(19)船の中では先生の指示に絶対従う。

3 宿泊の心得

(1)決められた部屋割り、食事入浴の順序を守ろう。
(2)自分の部屋・便所・洗面所・非常口の位置をよく覚えておく。
(3)他人の部屋をのぞいたり、無断で入ったりしては失礼になる。

(4)貴重品(カメラ・時計・お金)は忘れずにあずけておく方が安全。
(5)自分の持物はいつも整とんしておく。
(6)入浴は順番に、早くすませる。
(7)脱衣は風呂敷に包んでおく。
(8)他の人も入る。勝手な湯加減をせぬ。
(9)人柄は食事の作法にあらわれる。
(10)旅館の人にあまり世話をやかせない。
(11)置物・寝具・食器・はき物等を大切に。
(12)家庭や友人へ旅の通信をしておこう。
(13)寝る前にはもう一度身の回りを整頓。
(14)まわりかまわぬさわぎは安眠の邪魔。
(15)就寝・起床の時間をまもろう。

4 交通安全



(1)かならず歩道を歩くこと
(2)対面交通(人は右側、車は左側)を守る。人道・歩道の明らかでない街路では特に注意をはらう。
(3)交通信号を守る。赤=止れ、黄=注意 青=進め、赤の点滅=注意して進め、黄の点滅=他の交通に注意して進め。
(4)横断はかならず横断歩道でする。
(5)横断時には一時とまって、1右、2左、3前方に注意してから真直ぐに進む。
(6)街路は三人以上並んで歩けない。
(7)立小便は軽犯罪法にふれる。
(8)路上の立話は通行人の邪魔になる。

5 見学地の心得

(1)草木や公共の物を大切に。
(2)ゴミを散らかさない。
(3)建物や建具には落書きしないよう。
(4)立入禁止区域には入らないこと。
(5)説明が始まったら口を閉じよう。
(6)よく見、よく聞き、よく考えて、疑問の点は質しておこう。

6 保健衛生と救急

(1)出発前には必らず用便。
(2)休憩時にも用便をすます。
(3)急病やけがは直ちに先生へ連絡の事。
(4)船車に酔う人は空腹・満腹を避ける。
(5)気温と被服の調節に心をくばる。
(6)睡眠不足は事故のもと。
(7)体質に合った薬を用意しておく。
(8)ゴミが眼に入った時はあわててこすらずにしばらく眼を閉じておく。
(9)食前には手洗いとうがいを励行。
(10)暴飲暴食は厳につつしもう。
(11)食中毒には各自の用心が第一。
(12)不衛生な飲物や氷は伝染病のもと。
(13)宿舎や夜行列車中では寝冷えに注意。

7 外出時の注意

(1)一人歩きは絶対禁物。
(2)派出な服装はあぶない。
(3)宿舎の位置・電話を覚えておく。
(4)道に迷ったら付近の交番か店で聞く。
(5)裏町や暗い所をうろつくと危険。
(6)あやしい人物(不良等)には関わらぬ。
(7)他校生といさかいをしない。
(8)雑とうではスリに気をつけよう。
(9)無駄使いはつつしもう。
(10)土産物は信用ある品を信用ある店で。
(11)定められた外出範囲と門限を守る。